

ご挨拶

第 66 回北日本産科婦人科学会総会・学術講演会

会長 齋藤 滋

(富山大学医学薬学研究部 産科婦人科学 教授)

第 66 回北日本産科婦人科学会開催にむけて

この度、伝統ある第 66 回北日本産科婦人科学会を富山市で開催させていただく事になり、大変、感謝しております。

前回、富山市で第 50 回北日本産科婦人科記念大会を開催させていただいたのは 2002 年ですが、その際には故九嶋勝司先生に北日本連合産科婦人科学会の歴史を話していただきました。いろいろな経緯を経た上で本学会が、北海道、東北、北陸の、道を含む 11 県の産婦人科医で構成されるようになり、日頃の研究成果を発表されることになった事を知りました。先人の御尽力に感謝しつつ、第 66 回北日本産科婦人科学会を運営させていただく事を誇りに思っております。

今回は招請講演として大阪大学 木村正先生に「一地方における母体ニアミス案件の分析と周産期医療体制」を講演していただき、指導医講習会として富山大学特命教授の長島久先生から「臨床倫理的課題と意思決定—医療対話推進技法の患者の意思決定支援への応用—」を講演いただきます。また特別講演として旭川医科大学 加藤育民先生、弘前大学 二神真行先生、東北大学 島田宗昭先生に、研究成果を発表していただきます。その他、一般演題として 141 題を応募していただき、素晴らしい内容になったと感謝しております。

野球大会、懇親会も含めると 3 日間の長丁場となりますが、知識を深めるとともに、ぜひとも親交を深めていただきたいと思います。

9 月下旬は富山市では味覚の秋を楽しめる絶好の機会です。ベニズワイガニ、白海老、フクラギ（ハマチ）、ゲンゲ（深海魚）を始めとする海の幸、リンゴ、梨、栗、キノコ類などの山の幸を存分に楽しんでいただき、楽しい思い出を富山で作っていただきたいと存じます。

皆様と富山でお会いできますことを楽しみにしております。